

北里大学病院・旧北里大学東病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	原発性肺癌及び転移性肺腫瘍(大腸癌)における腫瘍免疫抑制システムの解明
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部呼吸器外科 診療准教授 塩見和
他の研究機関および 各施設の研究責任者	他の研究機関および各施設の研究責任者なし
本研究の概要・背景・目的	がん細胞には免疫システムから逃れる仕組み(免疫チェックポイントと呼ばれています)が存在します。この仕組みのカギとなるタンパク質に作用し、がん細胞が免疫システムから逃れられないようにして、がん細胞を排除する薬剤を免疫チェックポイント阻害剤(Immune Checkpoint Inhibitor:ICI)と言います。近年、肺癌を含む多くの悪性腫瘍において、ICIを用いた免疫療法の有効性が臨床試験で証明されました。しかし、実際の臨床現場では、ICIの投与によって十分なメリットを得られる患者さんは多くはありません。その理由に、どの患者さんに効果があるか、また、どの患者さんに副作用が出るかを、治療前に予測するための適切な指標(バイオマーカー)がないことが挙げられます。本研究では、肺癌の手術後に得られた病理検体を用いて腫瘍微小環境(免疫担当細胞、腫瘍細胞、間質細胞、サイトカインなどの状況)を調べ、予後やICIの治療効果、副作用を予測するバイオマーカーを探索します。
調査データ 該当期間	2004年1月1日から2028年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2004年1月1日から2023年12月31日までの間に、北里大学病院及び北里大学東病院で原発性肺癌及び転移性肺腫瘍(大腸癌)と診断され、生検、手術を受けた方
研究の方法 (使用する試料等)	2004年1月1日から2028年12月31日までのカルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 また、肺癌の手術時に摘出した病理検体を用いて免疫組織化学的染色を行います。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の研究機関への試料/情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日: 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学呼吸器外科研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会および各施設の利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますので申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、2028年12月31日までに、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:呼吸器外科・診療准教授 担当者:塩見 和(シオミ カズ) 電 話:042-778-8111</p>
備 考	